



Cisco Telemetry Broker 1.2.2

リリースノート



目次

はじめに	3
Cisco Telemetry Broker 展開のアップグレード	3
更新ファイルのダウンロード	3
更新ファイルのアップロード	3
最新情報	4
バージョン 1.1.2	4
バージョン 1.2.2	4
修正点	6
バージョン 1.0.2	6
バージョン 1.0.3	6
バージョン 1.1.2	6
バージョン 1.1.3	6
バージョン 1.2.2	7
サポートに連絡	8

はじめに

Cisco Telemetry Broker v1.2.2 は、新機能とバグ修正の両方を含む機能リリースです。

Cisco Telemetry Broker 展開のアップグレード

Cisco Telemetry Broker マネージャの Web インターフェイスの [ソフトウェアアップデート (Software Update)] ページには、マネージャノードとブローカーノードの現在の Cisco Telemetry Broker バージョンが表示され、最新のリリースバージョンにアップグレードできます。


この更新により、マネージャとすべての管理対象ブローカーノードが最新バージョンにアップグレードされます。更新を実行する前に、Cisco Telemetry Broker VM の VM スナップショットを作成することをお勧めします。このスナップショットを使用して、予期しないエラーが発生した場合に現在の状態に戻すことができます。

更新中にシステムが応答しなくなり、最初にマネージャが更新され、次にブローカーノードが更新されます。マネージャの更新中は、Cisco Telemetry Broker の展開の状態が正しく表示されない場合があります。ブローカーノードの更新中は、送信されたトラフィックを宛先に正しく渡すことができません。

更新ファイルのダウンロード

1. [Cisco Software Central](#) に移動します。
2. [ダウンロードとアップグレード (Download and Upgrade)] セクションで、[ダウンロードにアクセス (Access Download)] を選択します。
3. 検索フィールドに「Cisco Telemetry Broker」と入力します。
4. [マネージャノード ソフトウェア (Manager Node Software)] を選択します。
5. CTB 更新バンドルファイル `ctb-update-bundle-v1.2.2-0-g5e59a32.tar` をダウンロードします

更新ファイルのアップロード

1. Cisco Telemetry Broker マネージャで、 (設定) アイコンをクリックします。
[アプリケーション設定 (Application Settings)] ページが開きます。
2. [ソフトウェアの更新 (Software Update)] タブをクリックします。
3. ページの右上隅にある [更新ファイルのアップロード (Upload an Update File)] をクリックします。
4. ダウンロードしたファイルを選択します。
表示される推定時間に基づき、アップロードが完了するまで数分かかる場合があります。ファイルがアップロードされると、ソフトウェアアップデートが利用可能になったことを通知するメッセージが表示されます。
5. [更新 (Update)] **Cisco Telemetry Broker** をクリックします。
マネージャノードが最新バージョンに更新されている間は、Cisco Telemetry Broker 内を移動できません。更新プロセスには約 10 分かかります。
6. 更新が完了すると、再度 Cisco Telemetry Broker にログインするように求められます。
更新中の各ブローカーノードの横にロードインジケータが表示されます。

最新情報

バージョン 1.1.2

- **Azure NSG フローログから IPFIX への変換** Azure NSG フローログを IPFIX に変換し、この情報を Cisco Telemetry Broker に送信できるようになりました。
- **KVM の展開** Cisco Telemetry Broker イメージは、KVM ハイパーバイザに展開するための qcow2 イメージとして配布されるようになりました。
- **スマートライセンス機能** オンプレミスの Smart Software Manager を使用して、スマートライセンス登録の更新、承認の更新、強制再登録、およびトランスポートゲートウェイ接続のサポートが追加されました。

i Cisco Telemetry Broker には Smart Software Manager バージョン 8-202010 以降が必要です。

- **Syslog 通知** Cisco Telemetry Broker では、システム内で発生しているアラートに関する通知がお客様の syslog サーバーに送信されるようになりました。以前は、ノードがパケットをドロップする、データを送信しない、宛先が到達不能であるなどを示すアラートがサポートされていませんでした。
- **テレメトリの分類 着信 UDP テレメトリ** Cisco Telemetry Broker 内で事前定義されたタイプ (NetFlow V9、IPFIX、Syslog など) に基づいて分類し、ユーザーインターフェイス (UI) に分類を表示できるようになりました。

バージョン 1.2.2

i v1.1.x 以前から v1.2.2 にアップグレードする場合、データの移行が必要になるため、プロセスには最大 1 時間かかる場合があります。正確な時間は、マネージャのディスク速度とデータベースのサイズによって異なります。この間、マネージャ UI が応答しない場合があります。

- **概要ページ** Cisco Telemetry Broker に新しいホームページが追加され、システムの状態とシステムを通じて送信されるテレメトリの概要が表示されます。
- **電子メール通知** 次のアラートのいずれかが生成されたときに、電子メール通知を送信するように Cisco Telemetry Broker に指示できるようになりました。
 - ブローカーノードデータなし (Broker Node No Data)
 - ブローカーノードのパケットドロップ (Broker Node Dropping Packets)
 - 宛先到達不能
 - アプライアンスのディスクが満杯

i 現在、カスタムアラートタイプは設定できません。

- **SCA 宛先** Secure Cloud Analytics (SCA) 宛先を追加できるようになりました。

- Cisco Telemetry Broker では、システムごとに 1 つの SCA 宛先のみを追加できます。
 - Cisco Telemetry Broker は IPFIX パケットのみを Secure Cloud Analytics に送信します。
 - Cisco Telemetry Broker デプロイメントにトラフィックが少ない場合、SCA 宛先を追加した後、データが [宛先 (Destinations)] ページに表示されるまでに最大 20 分かかることがあります。
- **宛先ルール** SCA 宛先のルールを追加するときに、IPv6 サブネットを追加することはできません。
 - **ブローカノードの展開** Transformation Capable パフォーマンスプロファイルを使用してブローカノードを展開し、テレメトリ変換を実現できます (たとえば、IPFIX データを Secure Cloud Analytics に送信します)。
 - これには 8 個の CPU と 12G のメモリが必要です。詳細については、『[Cisco Telemetry Broker Virtual Appliance Deployment and Configuration Guide](#)』の「Virtual Machine Requirements」セクションを参照してください。
 - Cisco Telemetry Broker ノードのディスクサイズが 40G から 70G に増加しました。したがって、SCA にデータを送信する場合は、v1.2.2 にアップグレードした後に VM をアップグレードして、追加の 30G のディスク容量を確保してください。手順については、『[Cisco Telemetry Broker User Guide](#)』の「Expand Cisco Telemetry Broker Manager Disk Size」セクションの手順 3 を参照してください。

修正点

このセクションでは、Cisco Telemetry Broker v1.xx で行われた修正の概要を説明します。

バージョン 1.0.2

CDETS ID	説明
関連付けられた ID なし	メトリックのデータ保持ジョブがすべてのデータをクリーンアップしないため、マネージャのディスクがいっぱいになる問題を修正しました。
関連付けられた ID なし	信頼できないファイルが処理されないようにするため、Cisco Telemetry Broker アップグレードプロセスに特別な検証が追加されました。
関連付けられた ID なし	デバッグに役立つ診断レポートが Cisco Telemetry Broker メーデーパックに追加されました。
関連付けられた ID なし	パッチが適用されたサードパーティライブラリがセキュリティ修正に導入されました。

バージョン 1.0.3

CDETS ID	説明
CSCvy44789	v5 AWS VPC フローログフィールドで Cisco Telemetry Broker が失敗する問題を修正しました。Cisco Telemetry Broker がサポートされていないフィールドを無視するようになり、失敗しなくなりました。

バージョン 1.1.2

このリリースの修正はありません。

バージョン 1.1.3

CDETS ID	説明
CSCvz01135	一度に大量のログを書き込むと Cisco Telemetry Broker によってディスクがいっぱいになることがあるという、まれな問題を修正しました。必要に応じて、ディスクのログが循環停止されるようになりました。
CSCvz46626	選択した時間範囲が 4 時間を超えていると、Cisco Telemetry Broker でグラフのデータレートが正しく表示されない問題を修正しました。
関連付けられた ID なし	Azure フローログが存在する場合に、Cisco Telemetry Broker の構成のバックアップが失敗する問題を修正しました。

CDETS ID	説明
関連付けられた ID なし	[S3バケットパス (S3 Bucket Path)] フィールドに大文字を入力すると、Cisco Telemetry Broker で VPC フローログを作成できない問題を修正しました。
関連付けられた ID なし	Azure フローログの送信元が正常な場合でも、Cisco Telemetry Broker で誤って「初出 (Never Seen)」ステータスが表示される問題を修正しました。

バージョン 1.2.2

CDETS ID	説明
CSCwa10327	マネージャの TLS 証明書を、3 証明書を超える CA 階層を含む PEM チェーン証明書に置き換えると、ノードとの接続が切断される問題を修正しました。Cisco Telemetry Broker は 3 証明書を超える Cisco Telemetry Broker 階層で動作するようになりました。
CSCvz89441	ブローカのインストール中に Cisco UDPD xml 設定をインポートすると失敗し、サーバーが 415 Unsupported Media Type エラー応答コードを受け取る問題を修正しました。

サポートに連絡

テクニカルサポートが必要な場合は、次のいずれかを実行してください。

- 最寄りの Cisco Telemetry Broker パートナーにご連絡ください。
- Cisco Telemetry Broker サポートにご連絡ください。
- Web でケースを開く場合：<http://www.cisco.com/c/en/us/support/index.html>
- 電子メールでケースを開く場合：tac@cisco.com
- 電話でサポートを受ける場合：1-800-553-2447 (米国)
- ワールドワイド サポート番号：
<https://www.cisco.com/c/en/us/support/web/tsd-cisco-worldwide-contacts.html>

著作権情報

Cisco および Cisco ロゴは、シスコまたはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧については、URL: <https://www.cisco.com/go/trademarks> をご覧ください。記載されている第三者機関の商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」という用語の使用はシスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1721R)

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。

リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。

あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。